

永眠者記念主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】
前 奏（黙祷）
「主はわが命」（讃美歌 21 の 570 番）
C.H.リンク作曲

あいさつ
讃 美 讃美歌 21/379 番
開会の祈り
交 読 詩 篇 詩編 119 篇（ヨド）

【第一部 み言葉の礼拝】
聖 書
✦ローマ 6 章 19～23 節
✦ヨハネ 8 章 42～47 節
(新 P.281、P.182)
教 話 井上隆晶牧師
『二つの死』
永眠者のための祈り（連祷）
讃 美 讃美歌 21/112 番
使 徒 信 条

【第二部 聖餐礼拝】
奉 献 讃美歌 21/81 番
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】
讃 美 讃美歌 21/385 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後 奏（黙祷）
「神よ、あなたの恵みでもって私を導いてください」（讃美歌 21 の 525 番）
J.G.ヴァルター作曲

【本日の礼拝奉仕者】
司式補佐 井上万里子
奏 楽 飯田雅子
献金当番 小渕公子
受付当番 澤田真弓

【本日の予定】
◇教会学校（朝 9 時 30 分）
・お話し：井上隆晶牧師
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈禱会（礼拝後）
◇伝道委員会（礼拝後）

【今週の教会での集会のご案内】
◇朝の祈り
・今週は牧師が留守のためお休みです。
◇英会話グループ
・お休みです。

【次週主日 8 月 17 日のご案内】
◇教会学校礼拝（午前 9 時 30 分）
・お話し：小坪英恵
◇主日朝礼拝（午前 10 時 30 分）
・聖 書
✦マタイによる福音書 8 章 5～13 節（新約 P.13）

・教 話 岸本光子牧師
『ただ、お言葉をくださいー癒しの礼拝ー』
・讃美歌 21 361、46、58
・交読詩篇 詩編 119（カフ）
・司式補佐 勝見 仁
・奏 楽 鹿野幸枝
・献金当番 アナスタシア・V
・受付当番 屋宮英男
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈禱会（礼拝後）

聖 句

「罪が支払う報酬は死です。しかし、神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」

（ローマ 6 章 23 節）

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》：8 月 11 日（月）～15 日（金）まで長野に帰省します。
- ②《8 月の行事のお知らせ》
■8 月 10 日（日）午前 10 時 30 分「永眠者記念礼拝」：ご家庭から記憶したい、永眠されたご家族の遺影（キャビネット）をご持参ください。
■8 月 17 日（日）午後 10 時 30 分「岸本光子牧師説教奉仕」
- ③夏期特別献金を献げましょう。献金目標は 16 万円です。皆さんのご協力をお願いします。
- ④先週の礼拝に初めて中国から銭崇博（せん・すうはく）さんが参拝されました。感謝します。
- ⑤【祈禱課題】
●新しい礼拝堂を建築するため。
●ウクライナとガザの戦争被災者のため。
●拘置所・刑務所にいる兄弟と家族のため。
●子どもたちの健康のため。
- ⑥【先週の集会統計】

日	集 会	男	女	大人	計	礼拝献金
3	CS 礼拝	0	1	4	5	¥1,150
	集 会	男	女	子ども	計	礼拝献金
3	朝の礼拝	7	13	4	24	¥8,600
5	朝の祈り	2	3	—	5	
8	朝の祈り	1	3	—	4	

- ⑦【8/3 の献金報告】
〔月定〕井上隆晶、勝見仁、澤田昌人、澤田真弓、鹿野幸枝、寺田律子、菱田朱美、松本貴子、山千代誠子（計 87,500 円）〔感謝〕清水みどり、小池りつ子（計 340,000 円）〔夏期特別〕小渕公子、澤田昌人、澤田真弓、鹿野幸枝、菱田朱美（計 35,000 円）〔建築〕井上隆晶、澤田昌人、澤田真弓、寺田律子、（計 22,000 円）〔互助〕井上隆晶、屋宮英男、澤田昌人、澤田真弓、鹿野幸枝、寺田律子（計 7,000 円）



【先週の説教要旨の続き】

「この岩がイスラエルの民と離れることなく共に旅をされたのです。私たちはイエス様を通して神を見ます。そのイエス様が「世の終わりにまであなたがたと共にいる」と約束されました。

⑥【神の山に登る努力をしよう】主はモーセに向かって「明日の朝までにそれを（二枚の石の板）用意し、朝、シナイ山に登り、山の頂でわたしの前に立ちなさい。」（出エジプト 34：2）と言われました。そこでモーセは、朝早く起きて、主が命じられたようにシナイ山に登りました。すると「主は雲のうちにあって降り、モーセと共にそこに立ち、主の御名を宣言された。」（34：5）と書かれています。シナイ山はとても険しい岩山で、山頂まで 2 時間ほどかかりますから、モーセは朝 4 時くらいに起きて登ったのでしょう。私たちもモーセのように神に出会う準備をしなければなりません。つまり祈りで神の山に登るのです。「聖なる生活を抜きにして、誰も主を見ることはできません。」（ヘブライ 12：14）とあるからです。祈りの生活をした者だけが、神を見ることができるのです。

ロンドンにジョージ・ミュラーという牧師がいました。彼は孤児の父と言われた人で、日本の孤児のために生涯をささげた石井十次は、彼の生き方に倣った人です。ミュラーは祈りで何千人という孤児を養いました。彼が絶えず口にしていた聖句は「私は決してあなたから離れず、決してあなたを置き去りにしない。」（ヘブライ 13：4）でした。彼は病気をするほど祈りました。祈るけれども、神はぎりぎりの所に行くまで、決して与えてはくれませんでした。しかし遅すぎることも、多すぎることも決してなく、これだけのお金が必要だと祈っていると、きちっと与えられました。神は人と共にいてくださることを約束されました。しかし人の方も神と共にいる努力をしなければならないのです。信仰がなければ神に喜ばれず、聖なる生活を抜きにして神を見ることはできないことをしっかりと覚えたいと思います。